

平成 23 年度 第 3 回 CCC 数学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成 23 年 6 月 4 日 (土) 9 時 40 分から 12 時 30 分まで
II. 場所 : 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者: 平野委員 (座長)、井川委員、守屋委員、山崎委員 (ネット参加・記録担当)、
(事務局) 森下主幹、平田職員

IV. 議事概要

1. 5 月 31 日の私情協の事業報告 (の中の「情報通信技術による教育改善の研究」) が紹介された。その要点は、①現在の課題がある程度解決された 5 年先の状況を想定 ②中高での新しい探求的・体験的学習の授業を受けた学生を想定 ③学習が生きる力として発揮できるような教育 (ICT による連携/PBL や社会フィードバック/点検と振り返り/学生による支援/ICT による評価システム) ④学士力の提案をふまえた到達目標・授業モデルの研究 ⑤ 30 の委員会で授業モデルをそれぞれ検討中であるが、その中間まとめを、ネットでの意見交換を経て 8 月頃をめどに行う、ということであった。各分野での個別の状況報告では数学分野についてもこれまでの経緯と現状 (社会生活の中での数学活用力をつけるための授業デザインの検討、実践にもとづいた動機付けのもとで自己学習できる ICT 活用モデルの研究等) が述べられている。

2. 今回の検討内容

学士力の実現に求められる ICT 活用 (授業モデル案) の中間まとめ

前回会議後、担当委員が作成した到達目標 3 の修正案 (「ハイパーOCW」は「教育クラウド」に変更)、および他委員による同様の修正案 (到達目標 1, 2 についての案の予定であったが、目標ごとに似たような授業モデル案を作るという趣旨の理解が十分でなかったため、全体としての案の形) をもとに、この会議において、最終的な原案の形 (枠組み) を作ってしまうことにした。

- ・すでに到達目標ごとに具体的な到達度を列挙済みであるが、これを冒頭に掲げる。
- ・到達目標 3 についての案をまとめた。抽象論としては案がよくまとまっていたが、「ICT を用いた学習内容」のところに他委員の案を入れるなどして拡充し、事務局の協力でリアルタイムに編集しつつ文案を練った。
- ・「LMS」「教育クラウド」などの専門用語の使い方についても文言を練り、読者に分かりやすい説明を書くようにした。「振り返り学習」「ネット活用」など各項目についても各委員の考え方を擦り合わせ、再度文章化していった。また、ICT 活用法の例としては事務局が紹介してくれた資料「早稲田大学における ICT を活用した数学リテラシー教育の報告」も参考にする。
- ・到達目標 1, 2 についても、旧案から分離し、学習の方法が異なることを考慮して、大枠をまとめた。授業モデルとしては、以前の案に含まれている事例 (複利計算など) を取捨選択して例示する。これにもとづき、担当委員が到達目標 3 のものと同様の形式で 2 ~ 3 日中にまとめて ML に提出する。
- ・それらを各委員で一週間くらいをめどに推敲し、最終案にもっていく。

3. 次回以降について

メールでの推敲を経て中間報告案をまとめた後の予定については、現時点では未定とし、適宜必要に応じて相談する。

以上